令和４年度　佐野市立常盤小学校の教育

【学校教育目標】

「心豊か」で「確かな学力」と「健やかな体」をもち、「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指す

〇よく考え 進んで勉強する子ども　（知）
〇明るく　思いやりのある子ども　（徳）
〇強く　たくましい子ども　（体）

【校訓：元気に　仲よく　よく励め】

学　校　の　姿

『 児童一人一人にとって　今日が満たされ　明日が待たれる学校 』

・授業づくり「学と楽」＝「分かった・できた・楽しい」「学ぶ喜び」を実感
・学級づくり「協と響」＝「自分が認められている」「一人一人が大切な存在」を実感

『児童にとっても　保護者にとっても　教職員にとっても　温かい学校 』

『あいさつが響き合う　安全で　明るく　美しい　花いっぱいの学校 』

児　童　の　姿

・「当たり前のことが　当たり前にできる常盤っ子」
（あいさつ、返事、聞き方、話し方、靴そろえ、立腰、時間）
・目当てをもって努力する常盤っ子
・“自分をつくるのは自分”
～自分自身の全部を大切にする常盤っ子～
・“好き”を増やせる常盤っ子

教 職 員 の 姿

・指導力や資質の向上に努める教職員
・子どもとの信頼関係を大切にする教職員
・「チーム常盤」で取り組む教職員
・“自分をつくるのは自分”
～閉校・開校を見据え、常盤っ子の
自分づくりを全力応援する教職員～

【重点項目】

〇児童が安心して学べる学校（温かい学校・温かい学級）
〇学習習慣と確かな学力の育成（「学び方（児童）と　授業力（教師）の向上」）
〇自己肯定感や自信のもてる児童の育成（「ふるさと 常盤」に誇りをもち 羽ばたこう）
〇健康・体力の増進（「早寝・早起き・朝ごはん」「立腰」「常盤タイムの充実」）

☆ 字　を　書　こ　う　　汗　を　か　こ　う　　夢　を　描　こ　う ☆

よく考え　勉強する子ども

〇学びに向かう集団づくりの育成
〇目当てをもって学習に取り組む
〇学習の約束と立腰の推奨
〇楽しんで書くことの推奨
〇家庭学習（宿題・自主学習・読書）の習慣化
〇個別最適な１人１台端末学習の推進
〇NIE(Newspaper in education)活動
〇地域の教育力を生かした授業づくり

明るく　思いやりのある子ども

〇あいさつの奨励と実践
〇「常盤賞」の表彰
“自分をつくるのは自分”
〇「ハートフル班」活動の充実
〇「STOP　THE　いじめ」の実践
〇子どものよさを見つけ伸ばす
〇教育相談の充実
〇「すてきな実のなる木」の掲示
〇読書の奨励「心の積立　読書通帳」

強く　たくましい子ども

〇常盤タイムの充実
「体力の向上を目指して
元気に遊び、元気に運動」
〇「心のさのし合言葉」の奨励
〇根気強くやり抜く子の奨励
〇実践的な避難訓練の実施
「自分の命は自分が守る」
〇交通安全教育の継続実践
〇健康教育の充実

〈学校研究課題〉
「分かった　できた　楽しい」が実感できる授業づくり　～ プログラミング的思考を育み　活用するための授業改善 ～

令和４年度　佐野市立常盤小学校の教育

【こんな子どもに育てます】

あたりまえのことが
あたりまえにできる常盤っ子

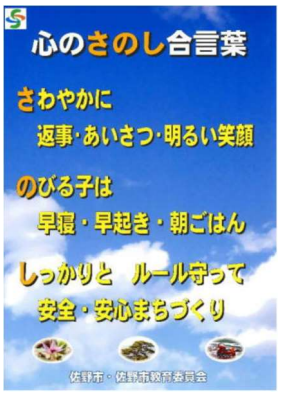
・元気に「あいさつ」「返事」をする
・話を最後まで聞く
・ていねいな言葉で話す
・くつをきちんとそろえる
・時間を守る

この５つの**「あたりまえのこと」**は誰にでもできることです。そして、大人にも必要で大切なこと…相手への思いやりもこめられています。
家庭・地域・学校で手をたずさえ、この「あたりまえのこと」をしっかり身に付けた**常盤っ子**に育てていきましょう。

【すべては、子どもたち一人一人のために】

時として、入学した後、子どもの元気がなくなったり、乱暴になったり、登校をしぶるようになったりすることを「小１プロブレム」という言葉で表されることがあります。学校生活のリズムがつかみにくかったり、なじみづらかったりすることや、そういった不安な気持ちの表現の一つだとも言われます。
子どもたち、一人一人がスムーズに小学校での生活になじめるよう、手をたずさえ、協力して進めていきましょう。「すべては、子どもたち一人一人のために」の思いを共有し、共に進んでいきましょう。

＜入学までのチェック項目＞

チェック	項　　目
	①　子どもと今日一日の話をしています。
	②　名前を呼ばれたら「はい」と返事ができます。
	③　思ったことや困ったことを人に伝えられます。
	④　通学路を親子で歩いて、道順や安全を確認しました。
	⑤　話を最期まで聞くことができます。
	⑥　いすに座っていられます。
	⑦　えんぴつやはしを正しく持てます。
	⑧　明日の準備を親子で一緒にできます。
	⑨　夜は早く寝ています。
	⑩　朝食は食べています。
	⑪　家の手伝いができます。
	⑫　親子で一緒に本を読んでいます。

もし、気になることがありましたら、あせらず、一つずつ、できることから始めてください。
そして、入学までに、望ましい生活習慣に近付けていきましょう。